

皆さんは妙智會の教え、会主さまの教えを頂いて、病気が軽くなった、人間関係が良くなった、借金が減ってきた。そういう「奇跡」や「順序」というものを、皆さんは体験していると思います。

しかし、皆さんの中には「妙智會をやってなくても奇跡が起きたかもしれない」という考えがあるかもしれません。妙智會をやっている今の自分と、やらなかった自分とは比較ができませんし、なぜこの教えをするのだらうと、思われるかもしれません。

今日は皆さんに奥の奥の話をしてします。

私も会主さまに伺ったことがあります。初めにおっしゃったのは「欲のためにやるのではない」ということでした。そして、「先祖供養というものは、欲のためにやるのではないのだよ。人間としてやるべきものだから、私は妙智會を開教したんだよ」とおっしゃいました。欲をかってはいけない、ご先祖さまを利用してはいけないということですよ。これが会主さまの答えでした。やっていた方がいいのか、やってない方がいいのかと考えること、それ自体がおかしいということなのです。

ですが、私たちはつらい時の方がお経を一生懸命上げますよね。何事もないということが一番の幸せですから、本当はそういう時にお経を一生懸命上げなければいけないのです。

また、私たち人間は、知らず知らずに「感情」というものが沸き起こっているものです。例えば、ご先祖さまが集まらない、導きができないと諦めてしまうこと。病気を治したいと思う、お金に苦労したくないと思う。これも全て感情なのです。そう思うなというのは無理な話で、やむを得ないことです。これが人間の業です。

ですが、そう思った自分を懺悔することが大切なのです。

会主さまが「懺悔ほど素晴らしいものはない」とおっしゃったのはここです。「死ぬまで懺悔」そして、「懺悔に勝る功德はない」とおっしゃいました。これが妙智のみ教えです。妙智の真骨頂です。

私たちは感情から様々なことを起こしています。だからこそ、そういう自分を、懺悔によって変えていかなければいけません。

皆さんの中には、心の底から懺悔しなかったら意味がないと言う方がいますが、そんなことはありません。大導師さまがよく「まずは、まずは口に出しなさい」とおっしゃいました。必ず後でついてきますから、懺悔は口だけでもいいから言うのです。

朝夕お経の時、必ず懺悔をしてください。忘れないでください。

私たちは人間として感情で生きています。それによって様々なことを思い、そして良いことよりも悪いことばかりをしています。だからこそ、そういう自分を懺悔することによって、変えていくことが大切なのです。死ぬまでそれをするべきなのです。

皆さん、ぜひ、今日お経のときに懺悔をしてください。そうすれば必ず順序がつきます。その順序が初めて本当の順序です。病気をするのも、お金で苦勞するのも順序かもしれませぬ。しかしそれを一つの結果としてとらえて、妙智會をやるか、やらないかというふうに思っははいけないんですね。

我々は日々、自分に対する懺悔をして、そうしながら自分を変えていくことが大切だということ。今日そのことを会主さまに代わってお話をさせて頂きました。

今日からまた懺悔の日々を送りたいと思います。よろしく願いいたします。